

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	スポーツキャンプ・各種大会の誘致				開始年度	—	
基本目標	スポーツランドの推進				終了年度	未定	
担当課(局)	政策推進課	担当係	総合政策係	記入者	宮越 信義	評価者	森 弘道
21年度決算	1,286	千円	22年度予算	69,746	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	2,186 千円		22年度人件費	1,808 千円		事業従事者数	0.30 人 0.25 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	町経済の活性化、スポーツ・観光の振興
事業の内容	春先の温暖な気候を活かし、関東方面の社会人や大学などのスポーツ団体を対象にキャンプ誘致や全国高校総体や全国スポレク祭などの開催実績がある総合体育館をアピールし、新たな大会の誘致を行うため機会があるごとに企業訪問やPR活動を行う。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# キャンプチーム数	町経済の活性化を図るためキャンプ誘致活動を行い、大学3団体(野球2、ラグビー1)、延べ1,477人泊の実績があった。
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 企業・大学への訪問	昨年度キャンプ実績のある社会人、大学を訪問し、キャンプ継続の要望活動を行った。また、一昨年度キャンプ実績のあった大学を訪問・招待し、キャンプ誘致に結びつけた。
	2	
	3	

◎達成状況

		指標名	単位	20年度	21年度	22年度
成果指標	キャンプチーム数	目標値	団体	3	3	5
		実績値		2	3	
		達成率		%	66.7%	100.0%
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	企業・大学への訪問	目標値	回	1	2	2
		実績値		1	1	
		達成率		%	100.0%	50.0%
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
0	目標値					
	実績値					
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!		

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	誘致活動については、町が主体となって取り組むべきである。しかし、今年度のラグビーのようにラグビー関係者による誘致もあることから、関係団体との連携を強化する必要がある。また、キャンプ等誘致による町経済への波及効果を動案すると誘致活動は引き続き実施する必要がある。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	大学3団体がキャンプを行い、宿泊や昼食など町内で消費することにより町経済への波及効果があった。また、スポーツ合宿補助金の創設により新規2団体が増となるなど補助制度の創設による効果がみられた。ただし、体育施設の充実・改修など受入体制の改善の必要がある。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	大学を訪問することで、キャンプの継続や新規団体の誘致に成功しており、誘致活動による成果はあった。また、キャンプ合宿の実績を積み重ね、新規誘致を有利に進めるためにもある程度の経費の支出は必要であり、施設の整備・改修などしばらくは経費節減の余地はない。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	キャンプ対応(宿泊、歓迎会など)については、商工会議所や観光協会との連携により行っている。キャンプ期間中や新たな大会の誘致により高鍋町を訪れた方への対応(観光案内・おもてなしなど)や会場周辺での物産展などは、町民との協働により実施できる可能性がある。

事務事業名	スポーツキャンプ・各種大会の誘致	担当課(局)	政策推進課
-------	------------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	<p>◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等</p>	<p>当町でキャンプを行った桐蔭横浜大学が神奈川大学リーグで優勝するなど話題性もあり、キャンプ希望チームが増加する可能性もある。また、昨年度は千葉大学医学部ラグビー部がキャンプを行ったが、琉球大学と琉球大学医学部、和歌山工業高校などがキャンプの検討を行っているとの情報もありラグビーキャンプのチーム数拡大が期待される。今年度には屋内練習場も完成するため、更に誘致活動は進めやすくなるが、今後は、屋内競技のキャンプ誘致や新たな大会の誘致なども視野に入れ、誘致活動を充実させたい。</p>	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充				○
				現状維持				
				縮小				
				廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充		
コスト								

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	<p>◎拡充が必要だが、練習場の確保等について検討しなければならない。 ◎グラウンドを利用した誘致には限りがあるので、総合体育館も利用したキャンプ誘致を進めていただきたい。 ◎新たなスポーツのキャンプ誘致の検討が必要である。</p>
	コスト	拡充	